

この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

## 花北青雲高を今春卒業・佐藤さん

花北青雲高ビジネス情報科をこの春卒業した佐藤志保さん(18)＝花巻市四日町＝は、在学中に全国商業高校協会の1級取得可能検定試験9種目のうち8種目で1級を取得した。同校では6年ぶりとなる好成績で、

普段の授業や大学受験と両立しながら成果を出した。4月からは明治大に進み、高校3年間の努力をステップに、会計士になる夢に向かって歩みだす。

# 商業高の検定 8種1級取得

## 受験と両立、努力結実

なければならぬ状況に身を置くこと。放課後や休日に市内の生涯学習施設に通い「周りが頑張っているから自分も頑張らなきゃ」と自らを鼓舞した。

3年前、花北青雲高に入学したのには「進学校で勉強させられ

## 大学で会計士の夢へ

るのではなく、自分次第で資格取得も大学進学もできる高校がよい」と考えたから。描いた通り、自身のペースで学びを充実させ、目的を果たした。

4月からは明治大商学部で学

検定試験には2年生の夏から挑戦。▽電卓実務▽簿記実務▽ビジネス文書実務▽英語▽情報処理(プログラミング、ビジネス情報の2部門)▽商業経済▽会計実務の8種目で1級を取得した。

昨年10月末に受けた会計実務は、履修外の内容に苦労した。期末試験や他の資格に向けた勉強と並行しながら、一からの習得に集中。テキストをノートにまとめ、自己流の参考書を作るなど工夫を凝らした。

やる気を保つ秘訣は「勉強し



自身が学んだ教室で、資格試験への挑戦を続けた3年間を振り返る佐藤志保さん

る。深い、新生活へ期待を膨らませ

高校生活を振り返り「資格オタクになっていた」と冗談めかす。張り屋は「計画性のない自分が試験に向けて計画的に勉強できたことが自信になった。3年間で『失敗してもいいからやりたいことに挑戦しよう』という姿勢が身に付いた」と自信を